

第 6 期射水市障がい福祉計画・第 2 期射水市障がい児福祉計画 進捗状況

1 成果目標

成果目標	福祉施設入所者の地域生活への移行	
目標値	【令和 5 年度末までの目標】	
	(1) 地域生活移行者数	
	目標値	目標値の考え方
	4 人	令和 5 年度末時点で、令和元年度末の施設入所者数(107 人)の 6% 以上(4 人以上)が地域生活に移行する。
成果指標	(2) 施設入所者数	
	目標値	目標値の考え方
	105 人	令和 5 年度末時点で、令和元年度末の施設入所者数(107 人)から 1.6%以上(2 人)を削減する。
	【実績】	
成果指標	区分	令和 5 年度末時点の実績
	(1) 地域生活移行者数	2 人
	(2) 施設入所者数	105 人
評価 (事務局案)	B	目標を概ね達成している (達成率: 概ね 7 ~ 9 割)

成果目標	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築			
目標値	【令和 5 年度末までの目標】			
	保健・医療・福祉関係者による協議の場(障がい者総合支援協議会の専門部会等)を設置する。			
	(1) 協議の場の開催回数			
	目標値	目標値の考え方		
年 2 回以上	射水市障がい者総合支援協議会の相談支援部会において、個別支援や支援体制、市内の地域基盤の整備等について検討する。			
成果指標	(2) 協議の場への参加人数			
	目標値			
	協議の場への参加者数は、保健、医療(精神科、精神科以外の医療機関別)、福祉、介護、当事者、家族等の関係者ごとに 1 人以上とする。			
	【実績】			
成果指標	区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	(1) 協議の場の開催回数	1 回	1 回	1 回
	(2) 協議の場への関係者の参加者数	15 事業者	15 事業者	23 事業者
評価 (事務局案)	B	目標を概ね達成している (達成率: 概ね 7 ~ 9 割)		

【評価】 A : 目標が達成されている 達成率 概ね 9 割以上 B : 目標を概ね達成している 達成率 概ね 7 ~ 9 割 C : 目標の達成が不十分である 達成率 概ね 5 ~ 7 割

成果目標	地域生活支援拠点等が有する機能の充実															
目標	【令和5年度末までの目標】 相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりの5つの機能を備えた面的な体制（地域生活支援拠点）を整備する。 障がい者総合支援協議会において年1回以上運用状況を検証し、拠点の在るべき姿を検討する。															
成果指標	【実績】 地域生活支援拠点数（令和5年度末時点） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>登録拠点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談</td> <td>8か所</td> </tr> <tr> <td>緊急時の受け入れ・対応</td> <td>7か所</td> </tr> <tr> <td>体験の機会・場</td> <td>11か所</td> </tr> <tr> <td>専門的人材の確保・養成</td> <td>12か所</td> </tr> <tr> <td>地域の体制づくり</td> <td>13か所</td> </tr> <tr> <td>（実登録拠点数）</td> <td>17か所</td> </tr> </tbody> </table>		区分	登録拠点数	相談	8か所	緊急時の受け入れ・対応	7か所	体験の機会・場	11か所	専門的人材の確保・養成	12か所	地域の体制づくり	13か所	（実登録拠点数）	17か所
区分	登録拠点数															
相談	8か所															
緊急時の受け入れ・対応	7か所															
体験の機会・場	11か所															
専門的人材の確保・養成	12か所															
地域の体制づくり	13か所															
（実登録拠点数）	17か所															
評価 （事務局案）	A	目標が達成されている（達成率：概ね9割以上）														

成果目標	福祉施設から一般就労への移行																				
目標値	【令和5年度の目標】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>目標値の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数</td> <td>16人</td> <td>令和元年度実績（12人）の1.27倍以上</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【内訳】</td> </tr> <tr> <td>就労移行支援事業からの移行者数</td> <td>7人</td> <td>令和元年度実績（5人）の1.30倍以上</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援A型からの移行者数</td> <td>4人</td> <td>令和元年度実績（3人）の1.26倍以上</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援B型からの移行者数</td> <td>4人</td> <td>令和元年度実績（3人）の1.23倍以上</td> </tr> </tbody> </table>			区分	目標値	目標値の考え方	就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数	16人	令和元年度実績（12人）の1.27倍以上	【内訳】			就労移行支援事業からの移行者数	7人	令和元年度実績（5人）の1.30倍以上	就労継続支援A型からの移行者数	4人	令和元年度実績（3人）の1.26倍以上	就労継続支援B型からの移行者数	4人	令和元年度実績（3人）の1.23倍以上
区分	目標値	目標値の考え方																			
就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数	16人	令和元年度実績（12人）の1.27倍以上																			
【内訳】																					
就労移行支援事業からの移行者数	7人	令和元年度実績（5人）の1.30倍以上																			
就労継続支援A型からの移行者数	4人	令和元年度実績（3人）の1.26倍以上																			
就労継続支援B型からの移行者数	4人	令和元年度実績（3人）の1.23倍以上																			
成果指標	【実績】 令和4年度の移行者数 令和5年度実績は集計前のため令和4年度実績を記載 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>移行者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【内訳】</td> </tr> <tr> <td>就労移行支援事業からの移行者数</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援A型からの移行者数</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援B型からの移行者数</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>			区分	移行者数	就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数	9人	【内訳】		就労移行支援事業からの移行者数	2人	就労継続支援A型からの移行者数	6人	就労継続支援B型からの移行者数	2人						
区分	移行者数																				
就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数	9人																				
【内訳】																					
就労移行支援事業からの移行者数	2人																				
就労継続支援A型からの移行者数	6人																				
就労継続支援B型からの移行者数	2人																				
評価 （事務局案）	C	目標の達成が不十分である（達成率：概ね5～7割）																			

成果目標	障がい児支援の提供体制の整備等																															
目標値	<p>【令和5年度末までの目標】</p> <p>(1) 地域支援体制の構築について、圏域で設置された児童発達支援センターを中核として、保育所等訪問支援の利用促進を目指す。また、保育園や認定こども園、放課後児童クラブ等の地域の保育、教育等の支援を円滑に受けられるようにするため、利用ニーズを把握し、必要な方が必要なサービスを利用できるよう、障がい児支援のサービスの調整を図る。</p> <p>(2) 特別な支援が必要な重症心身障がい児及び医療的ケア児に対する支援については、障がい者総合支援協議会の専門部会等を通じ、保健、医療、障がい福祉、保育、教育等関係機関の連携を図るとともに、障がい児やその家族のニーズの把握や支援の在り方を検討し、適切な支援を受けられる体制の整備を目指す。</p> <table border="1" data-bbox="331 685 1449 987"> <thead> <tr> <th data-bbox="331 685 539 730">目標値</th> <th colspan="3" data-bbox="539 685 1449 730">目標値の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="331 730 539 819">1 か所以上</td> <td colspan="3" data-bbox="539 730 1449 819">市内又は圏域における重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所の数</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 819 539 909">1 か所以上</td> <td colspan="3" data-bbox="539 819 1449 909">市内又は圏域における重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所の数</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 909 539 987">8 人</td> <td colspan="3" data-bbox="539 909 1449 987">医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数</td> </tr> </tbody> </table>				目標値	目標値の考え方			1 か所以上	市内又は圏域における重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所の数			1 か所以上	市内又は圏域における重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所の数			8 人	医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数														
目標値	目標値の考え方																															
1 か所以上	市内又は圏域における重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所の数																															
1 か所以上	市内又は圏域における重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所の数																															
8 人	医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数																															
成果指標	<p>【実績】</p> <p>(1) 地域支援体制の構築</p> <table border="1" data-bbox="331 1104 1449 1283"> <thead> <tr> <th data-bbox="331 1104 938 1149">区分</th> <th data-bbox="938 1104 1106 1149">令和3年度</th> <th data-bbox="1106 1104 1281 1149">令和4年度</th> <th data-bbox="1281 1104 1449 1149">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="331 1149 938 1238">キッズポートいみずでの地区相談会の開催回数</td> <td data-bbox="938 1149 1106 1238">9回</td> <td data-bbox="1106 1149 1281 1238">9回</td> <td data-bbox="1281 1149 1449 1238">9回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 1238 938 1283">地区相談会での相談件数</td> <td data-bbox="938 1238 1106 1283">76件</td> <td data-bbox="1106 1238 1281 1283">69件</td> <td data-bbox="1281 1238 1449 1283">71件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医療的ケア児に対する支援の充実</p> <table border="1" data-bbox="331 1350 1106 1485"> <thead> <tr> <th data-bbox="331 1350 938 1395">区分</th> <th data-bbox="938 1350 1106 1395">事業所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="331 1395 938 1485">圏域内における重症心身障がい児を支援する事業所数（令和5年度末時点）</td> <td data-bbox="938 1395 1106 1485">4事業所</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="331 1507 1449 1731"> <thead> <tr> <th data-bbox="331 1507 938 1552">区分</th> <th data-bbox="938 1507 1106 1552">令和3年度</th> <th data-bbox="1106 1507 1281 1552">令和4年度</th> <th data-bbox="1281 1507 1449 1552">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="331 1552 938 1641">専門部会（こども部会）での医療的ケア児に関する協議の回数</td> <td data-bbox="938 1552 1106 1641">1回</td> <td data-bbox="1106 1552 1281 1641">1回</td> <td data-bbox="1281 1552 1449 1641">2回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 1641 938 1731">医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置人数</td> <td data-bbox="938 1641 1106 1731">8人</td> <td data-bbox="1106 1641 1281 1731">8人</td> <td data-bbox="1281 1641 1449 1731">11人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	キッズポートいみずでの地区相談会の開催回数	9回	9回	9回	地区相談会での相談件数	76件	69件	71件	区分	事業所数	圏域内における重症心身障がい児を支援する事業所数（令和5年度末時点）	4事業所	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	専門部会（こども部会）での医療的ケア児に関する協議の回数	1回	1回	2回	医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置人数	8人	8人	11人
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度																													
キッズポートいみずでの地区相談会の開催回数	9回	9回	9回																													
地区相談会での相談件数	76件	69件	71件																													
区分	事業所数																															
圏域内における重症心身障がい児を支援する事業所数（令和5年度末時点）	4事業所																															
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度																													
専門部会（こども部会）での医療的ケア児に関する協議の回数	1回	1回	2回																													
医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置人数	8人	8人	11人																													
評価 (事務局案)	A	目標が達成されている（達成率：概ね9割以上）																														

成果目標	相談支援体制の充実・強化等			
目標値	【令和5年度末までの目標】			
	(1) 相談支援体制の検証・評価			
	目標値	目標値の考え方		
	年1回以上	障がい者総合支援協議会において相談支援体制の検証・評価を行う。		
	(2) 地域の相談支援体制の強化			
	目標値	目標値の考え方		
実施	地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言、地域の相談支援事業者の人材育成の支援及び地域の相談機関との連携強化の取組を実施する。			
成果指標	【実績】			
	(1) 相談支援体制の検証・評価			
	毎年、障がい者総合支援協議会において相談支援部会の活動報告を行った。			
	(2) 地域の相談支援体制の強化			
	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	市内相談支援事業所の実地調査	4件	3件	2件
相談支援部会での研修等の実施	3回	3回	4回	
評価 (事務局案)	A			
	目標が達成されている (達成率：概ね9割以上)			
	(3) 保護者支援と幼児・児童への療育支援を受けられる体制の確保			
	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	ペアレントトレーニングの受講者	38人	54人	63人

成果目標	障がい福祉サービス等の質の向上に向けた取組		
目標値	【令和5年度末までの目標】		
	(1) 障がい福祉サービス等の利用状況の把握、検証		
	目標値	目標値の考え方	
	1人1回以上	障がい福祉サービス等に係る研修への参加回数	
年1回以上	障がい者自立支援審査支払等システム等での審査結果の分析内容を事業所等と共有する回数		
成果指標	【実績】		
	(1) 障がい福祉サービス等の利用状況の把握、検証		
	<ul style="list-style-type: none"> ・県が開催する障がい福祉サービス等に係る研修に毎年職員が参加した。 ・審査結果の分析内容の事業所等と共有は未実施。 		
評価 (事務局案)	C		
目標の達成が不十分である (達成率：概ね5～7割)			

成果目標	ひきこもり施策の推進			
目 標	【令和5年度末までの目標】			
	目標値	目標値の考え方		
	実施	相談窓口や支援場所の周知を図り、適切な支援につなげるとともに、ひきこもり支援に携わる人材の養成に努める。		
成果指標	【実績】			
	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	ひきこもりサポーターの登録者数	31人	46人	46人
評価 (事務局案)	B	目標を概ね達成している (達成率: 概ね7~9割)		

成果目標	差別の解消の推進及び障がい者虐待の防止			
目 標	【令和5年度末までの目標】			
	目標値	目標値の考え方		
	実施	障がい特性や合理的配慮についての理解を深めるため、啓発活動に努める。 射水市障がい者虐待防止センターに専門職を配置し、迅速かつ適切な対応、再発の防止等に努める。		
主な内容 (実績等)	【実績】			
	(1) 障がい福祉に関する市政出前講座の開催			
	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	出前講座の開催回数	3回	2回	9回
	(2) 射水市障がい者虐待防止センターでの通報・相談件数			
	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	通報・相談件数	4件	10件	13件
評価 (事務局案)	B	目標を概ね達成している (達成率: 概ね7~9割)		

成果目標	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応			
目 標	【令和5年度末までの目標】			
	目標値	目標値の考え方		
	実施	感染症拡大防止のため各事業所へ情報提供や資器材提供を行う。また、感染症拡大防止対策について国、県、各事業所と連携して取り組み、サービス等が継続的に提供できる体制の構築に努める。		
主な内容 (実績等)	【実績】			
	<ul style="list-style-type: none"> サービス従事者の感染症対策に係る資器材(衛生用品等)を市が備蓄し、支援を必要とする事業所に対して無償で提供した。 感染拡大により休業した事業所の利用者の在宅支援について、事業所と連携を図った。 			
評価 (事務局案)	B	目標を概ね達成している (達成率: 概ね7~9割)		

成果目標	障がい者総合支援協議会の機能強化			
目 標	【令和5年度末までの目標】			
	目標値	目標値の考え方		
	実施	協議会及び専門部会を積極的に開催し、協議会の活性化を図る。		
主な内容 (実績等)	【実績】			
	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	障がい者総合支援協議会の専門部会の開催回数	15回	18回	18回
評価 (事務局案)	B	目標を概ね達成している (達成率: 概ね7~9割)		

2 障がい福祉サービス

(1) 訪問系サービス

居宅介護	自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行う。
重度訪問介護	重度の肢体不自由者又は重度の知的障がい者若しくは精神障がいにより行動上著しい困難がある方で、常に介護を必要とする方に、自宅で入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援、入院時の支援等を総合的に行う。
同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難がある方が外出するとき、必要な情報提供や介護を行う。
行動援護	自己判断能力が制限されている方が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行う。
重度障がい者等包括支援	介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行う。

サービス名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	見込量
居宅介護	人/月	30	31	33	31	27	28	40
	時間/月	235	303	332	278	250	236	400
重度訪問介護	人/月	-	-	-	1	1	1	1
	時間/月	-	-	-	3	411	635	240
同行援護	人/月	14	12	11	10	9	9	17
	時間/月	311	169	156	179	178	175	340
行動援護	人/月	2	2	6	7	7	9	8
	時間/月	9	38	60	96	102	118	80
重度障がい者等包括支援	人/月	-	-	-	-	-	-	1

表中の符号等の用法は、実績の値の「」は皆無、「0」は単位未満(0.5未満) <以下同様>

【第6期計画期間中の状況】

居宅介護は、利用人数、利用時間ともに見込量を下回っている。

重度訪問介護は、利用時間は見込量を上回っている。令和4年1月から1名利用が始まり、令和6年2月から更にもう1名が利用を開始している。

同行援護は、利用人数、利用時間ともに見込量を下回っている。

行動援護は、利用者数、利用時間ともに見込量を上回っている。

(2) 日中活動系サービス

生活介護	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する。
自立訓練（機能訓練）	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能の維持、向上のために必要な訓練を行う。
自立訓練（生活訓練）	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、生活能力の維持、向上のために必要な支援、訓練を行う。
就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。
就労継続支援（A型）	一般企業等での就労が困難な人に、雇用して就労の機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う。
就労継続支援（B型）	一般企業での就労が困難な人に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う。
就労定着支援	一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課題に対応するための支援を行う。
短期入所	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含めた施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。
療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話をを行う。

サービス名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	見込量
生活介護	人/月	256	253	256	257	261	260	270
	日/月	4,980	5,093	4,955	4,884	4,982	5,017	5,400
自立訓練 （機能訓練）	人/月	2	2	2	1	—	—	5
	日/月	38	33	31	1	—	—	90
自立訓練 （生活訓練）	人/月	2	0	—	1	1	1	5
	日/月	22	0	—	25	31	22	75
就労移行支援	人/月	18	3	5	6	5	6	17
	日/月	307	61	73	98	85	111	340
就労継続支援A型	人/月	87	90	96	108	108	101	99
	日/月	1,654	1,715	1,789	2,019	2,052	1,941	1,980
就労継続支援B型	人/月	124	160	159	170	180	189	170
	日/月	2,004	2,553	2,510	2,683	2,839	3,067	3,060
就労定着支援	人/月	—	2	2	4	3	3	6
	短期入所 （福祉型）	人/月	32	29	22	17	13	21
短期入所 （医療型）	日/月	182	132	91	60	42	90	225
	人/月	9	7	4	4	5	5	11
療養介護	日/月	40	30	18	31	24	31	55
	人/月	28	28	28	28	27	26	30

【第6期計画期間中の状況】

自立訓練（機能訓練）は、令和4年度から利用者がいなくなったことから、見込量を下回っている。

就労継続支援A型・B型の利用者数は、いずれも見込量を上回っているが、利用日数ではA型がやや見込み量を下回っている。

短期入所（福祉型・医療型）は、利用者数、利用日数ともに見込量を下回っている。

(3) 居住系サービス

自立生活援助	一人暮らしに必要な理解力・生活力を補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行う。
共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談、入浴、排せつ、食事の介護、日常生活上の援助を行う。
施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。

サービス名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	見込量
自立生活援助	人/月	-	-	-	-	-	-	1
共同生活援助 (グループホーム)	人/月	41	48	47	52	57	61	52
施設入所支援	人/月	108	107	107	107	107	105	105

【第6期計画期間中の状況】

共同生活援助利用者数は、毎年増加しており見込量を上回っている。

施設入所者数は、令和5年度に2名減となったことから、計画どおりとなっている。

(4) 相談支援

計画相談支援	サービス等利用計画の作成、事業者等との連絡調整、サービス等の利用状況等の検証(モニタリング)等を行う。
地域移行支援	住居の確保等、地域での生活に移行するための活動に関する相談、各種障がい福祉サービス事業所への同行支援を行う。
地域定着支援	常時、連絡体制を確保し、障がい特性に起因して生じた緊急事態等における相談、障がい福祉サービス事業所等と連絡調整など、緊急時の各種支援を行う。

サービス名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	見込量
計画相談支援	人/月	111	158	134	139	138	140	160
地域移行支援	人/月	-	0	0	0	0	-	3
地域定着支援	人/月	1	1	1	1	1	1	3

【第6期計画期間中の状況】

計画相談支援の利用者は横ばいとなっており、見込量を下回っている。

3 児童福祉法に基づく障がい児支援

児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練を行う。
医療型児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練及び治療を行う。
放課後等デイサービス	授業の終了後又は休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のための必要な訓練、社会との交流促進などの支援を行う。
保育所等訪問支援	保育所、乳児院・児童養護施設等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行う。
居宅訪問型児童発達支援	重度の障がい等により外出が困難な障がい児の居宅を訪問して発達支援を行う。
障がい児相談支援	サービス等利用計画の作成、事業者等との連絡調整、サービス等の利用状況等の検証（モニタリング）等を行う。

サービス名	単位	第1期障がい児福祉計画			第2期障がい児福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	見込量
児童発達支援	人/月	57	55	55	61	56	61	59
	日/月	337	279	281	298	281	309	354
医療型児童発達支援	人/月	4	4	1	1	-	-	6
	日/月	27	20	8	1	-	-	36
放課後等デイサービス	人/月	106	107	127	146	152	159	125
	日/月	1,120	1,213	1,523	1,779	1,822	1,948	1,375
保育所等訪問支援	人/月	0	-	0	1	1	-	2
	日/月	0	-	0	1	1	-	2
居宅訪問型児童発達支援	人/月	-	-	-	-	-	-	1
	日/月	-	-	-	-	-	-	1
障がい児相談支援	人/月	20	34	43	45	45	48	37

【第6期計画期間中の状況】

児童発達支援の利用者数は、概ね計画どおりに推移しているが、利用日数は見込量を下回っている。

医療型児童発達支援は、令和4年度から利用者がいなくなったことから、見込量を下回っている。

放課後等デイサービスと障がい児相談支援の利用者、利用日数は増加傾向にあり、いずれも見込量を上回っている。

4 地域生活支援事業

意思疎通支援	聴覚・音声・言語機能障がいのある方に対し、地域生活の円滑化、社会参加の向上を図るため、手話通訳者又は要約筆記者を派遣する。
日常生活用具給付	障がいのある方の自立の支援、社会参加の促進を図るため、日常生活をより円滑に行うための用具を給付又は貸与する。 給付内容：介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排せつ管理支援用具、居宅生活動作補助用具
移動支援	屋外での移動に支援が必要な人に対し、自立生活と社会参加を図るため、外出支援を行う。
地域活動支援センター	気軽に相談ができ、昼間、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流等を行う。
成年後見制度利用支援	身寄りがない、親族が申立を行うことができない等の理由で成年後見制度の申立ができない障がい者に対して、親族に代わり市長が申立を行う。 また、後見人等の報酬費用の負担が困難な方に対し助成を行う。
日中一時支援	自宅で介護する人の不在時や一時的な休息を図るために、昼間、施設で障がい者・児の見守りや預かり等の支援を行う。
訪問入浴サービス	自宅の浴槽での入浴が困難な在宅の身体障がい者を対象に、居宅で訪問入浴車両により、入浴サービスを提供する。

(1) 必須事業

事業名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	見込量
相談支援事業	設置数	1	1	1	1	1	1	1
意志疎通支援事業	利用件数	88	78	47	72	69	68	91
	事業所数	1	1	1	1	1	1	1
日常生活用具給付事業	給付件数	2,332	2,265	2,205	2,218	2,327	2,302	2,368
移動支援事業	実利用者数	26	17	11	11	18	23	15
	延利用時間(時間/月)	609	414	461	442	416	709	345
地域活動支援センター事業	設置数	4	4	4	4	4	4	4
成年後見制度申立	市長申立件数	1	0	0	0	1	0	3
成年後見制度報酬支払	報酬支払件数	0	3	2	0	3	3	6
市民後見人養成研修	修了者数	7	10	1	4	3	3	実施
ボランティア活動支援事業	参加者数	22	26	40	27	28	30	実施
	事業数	1	1	1	1	1	1	

【第6期計画期間中の状況】

意思疎通支援事業の利用件数は、横ばいに推移しており、見込量を下回っている。

日常生活用具給付事業の給付件数は、令和4年度に伸びたが、見込量を下回っている。

移動支援事業の実利用者数、延べ利用時間は、令和5年度に大きく伸びており、見込量を上回っている。

(2) 任意事業

事業名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	見込量
日中一時支援事業	実利用者数	105	94	77	72	62	69	86
	事業所数	20	20	21	21	22	22	—
訪問入浴サービス事業	実利用者数	2	4	4	4	4	5	4
	事業所数	3	3	3	3	3	3	—
生活訓練事業	参加者数	81	86	10	10	80	88	実施
	事業数	2	2	1	1	1	1	
本人活動支援事業	参加者数	83	78	17	16	60	106	実施
	事業数	2	2	1	1	1	2	
点字・声の広報等発行事業	奉仕員登録者数	63	61	69	64	67	66	60
	事業数	3	3	3	3	3	3	3
手話奉仕員養成研修	全課程修了者数	43	40	13	0	26	12	20
	コース	2	2	2	2	2	2	2
朗読奉仕員養成研修	修了者数	37	36	39	37	39	36	40
	コース	1	1	1	1	1	1	1
点訳奉仕員養成研修	修了者数	6	4	8	7	12	3	10
	コース	1	1	1	1	1	1	1
自動車運転免許取得・改造助成事業	利用者数	5	4	5	3	3	2	4
	事業数	2	2	2	2	2	2	2

【第6期計画期間の取組等】

日中一時支援事業の実利用者数は、見込量を下回っている。

訪問入浴サービス事業の実利用者数は、概ね計画どおりに推移している。

生活訓練事業、本人活動支援事業の参加者数は、令和4年度以降は令和元年度の水準に戻り、社会活動の広がりが見られる。

点字・声の広報等発行事業の奉仕員登録者数は、見込量を上回っている。

手話奉仕員養成研修、朗読奉仕員養成研修及び点訳奉仕員養成研修の修了者数は、令和4年度はいずれも見込量を上回ったものの、令和5年度は減少している。

5 令和5年度ひきこもり支援対策

(1) 相談事業

ア 射水市ふくし総合相談センターすてっぷ（射水市社会福祉協議会内に設置）
のべ相談件数 1,018件（令和4年度 937件）

イ 専門相談会
12回開催 相談件数 29件（令和4年度 27件）

(2) 居場所（すてっぷカフェ）の提供

毎月第1金曜日 12回開催 延利用者数 66人（令和4年度 39人）

(3) ひきこもりサポーターの養成

ア ひきこもりサポーター養成研修会
令和5年8月29日、9月7日開催
修了者数 20人（令和4年度 22人）

内容	講師
ひきこもりの理解	(医社)仁清会 グリーンヒルズ若草病院 院長 片町 隆夫氏
相手に合わせたコミュニケーション	富山県発達障害者支援センターほっぴ 相談員 北川 忠氏
支援者・当事者の話を聞いて理解を深めよう	特定非営利活動法人 はあとぴあ21 理事長 高和 正純氏
ひきこもりサポーターの心構えや自分たちにできること	富山福祉短期大学 社会福祉学科 講師 中村 尚紀氏

(4) ひきこもりサポーターの派遣

すてっぷカフェの事業運営の参加（実人数：22名 活動回数24回）

(5) ひきこもり当事者の自立支援

ア 生活困窮者自立相談支援事業（うち、ひきこもり支援事業対象者）

利用者数 50人（令和4年度 利用者数43人）

イ 就労準備支援事業（生活自立支援、社会参加支援等）

利用者数 2人（令和4年度 利用者数2人）

【第6期計画期間の取組等】

開設4年目となった射水市ふくし総合相談センターすてっぷの延べ相談件数は、年々増加しており、地域の相談窓口として少しずつ周知されてきたことによると考える。

今後も、当事者の居場所運営への参加などひきこもり支援に携わる「ひきこもりサポーター」養成研修を実施し、また、人材の育成に努めていく。